追加機能

ファームウェア V1.10より次の機能が追加されました。

1.HS モードの追加

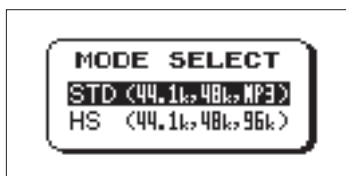
従来のMP3/44.1kHz/48kHz対応のSTDモードに加え、新たに44.1kHz/48kHz/96kHz対応のHSモードを装備し、96kHzでの録音再生が可能となりました。

2. ホーム画面の表示追加

設定されているモードの状態の表示するアイコンの追加

モードの選択

使用する動作モードの設定をします。

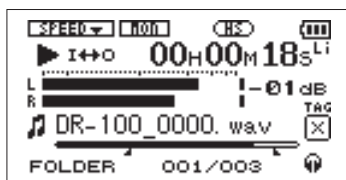
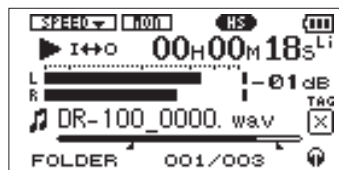
1. **ENTER/MARK**キーを押しながら**POWER**キーを押して電源を入れるとモード選択画面を表示させせます。

STD（初期値）**:** WAVのサンプリング周波44.1k/48k(Hz)とMP3が利用できる従来のモード。

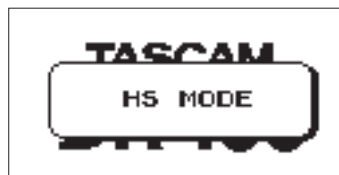
HS : WAVのサンプリング周波数44.1k/48k/96k(Hz)が利用できるモード。

2. ホイールで使用するモードを選択し、**ENTER/MARK**キーを押して設定します。
3. 選択されたモードで起動します。

以降、選択されたモードは記憶され、次回電源投入時にも選択されたモードにて起動します。

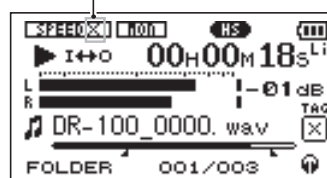
モードの確認

設定されているモードの確認は、STDモード設定時のホーム画面は "STD" を表示、HSモード設定時のホーム画面は " HS " を表示します。

[STDモード設定時のホーム画面]

[HS モード設定時のホーム画面]

HSモード設定時の起動時には、**"HS MODE"** とポップアップ表示します。

[HSモード設定時の起動画面]

HS モードにおける制約事項

HSモードでは、下記の制約事項があります。

- MP3ファイルの録音再生はできません。STDモードでご使用ください。
- 96kHzファイルのオーバーダビングはできません。
- 96kHzファイルでは、ホーム画面上の **"SPEED"** 表示に **"X"** が表示され、再生スピード可変機能やVSA機能（**"PB CONTROL"**）が動作しません。

- 96kHzファイルのループ再生では、ループ開始時に間隔が空きます。
- 96kHzファイルのトラックインクリメントでは、録音時間が4秒以内のファイルを作成することはできません。